愛知産業大学 総合情報学科 (設置構想中)

多感覚ICTに不可欠な通信品質制御を"体験で学ぶ"DX教育

<背景と目的>

- 多感覚ICTは、視覚・聴覚・力覚・嗅覚などの情報を統合的に扱う技術であり、これらを遠隔で扱う際に は、通信の遅延や損失が体験そのものに大きく影響
- 通信品質制御(OoS)の重要性を"体験"を通じて理解し、探究活動へ発展

<研究内容とテーマ例>

仮想書道システム



書道家の運筆を再現し、筆圧・線の太さ・ズレを体験可能 → ネットワーク遅延により、書き心地や評価点に違いが発生

▶ 探究テーマ例:認知症予防/文化継承×ICT

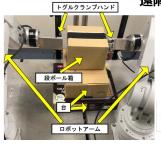
メタバース 歩行支援システム



足踏み・心拍・香りを使っ てメタバース内を歩行体験 → 通信品質が歩行の自然さ や香りの同期に影響

▶ 探究テーマ例:運動習慣 形成/福祉支援/健康DX

遠隔ロボット操作システム





力覚フィードバックを伴い、遠隔ロボットを操作 → 遅延により誤操作・反応の遅れを体感

▶ 探究テーマ例:災害対応/遠隔医療/人機協働

デジタル技術による新しい学び

<メタバース/XR型 学習空間の利用>

- 学習における共有VR空間体験への没入
- 空間性は、エピソード記憶(脳の場所細胞、グリッ ド細胞,時間細胞,境界細胞による)を構築するた めの基礎
- 実空間とライブ接続したXRメタバースは多様な実 空間学習とVR空間学習を共有可

<身体型/五感体験型 学習空間の利用>

- 学習における深い理解を達成するために五感体験 は多くの場合有用である.
- 世界各地への没入臨場体験が有効
- 身体運動スキルの体験(スキー/登山)
- 身体運動の受動感覚提示による教示















歩行体験 歩行体験

の五感体験 ストック運動ディスプレイ

立位全身運動

XRメタバース空間







リアルアバター共同学習

リアル空間の共有 ライブカメラ

五感シアター